

20161225 「幼子をさがしあてた羊飼い」

目標：最初の御降誕の告知知らせは羊飼いたちになされた理由を考察し、クリスマスに込められた意味を深くつかむ。

聖書箇所：ルカ 2：8～20 時間：10分

暗誦聖句：「あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである」（ルカによる福音書 2：12）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：クリスマスの出来事のあらかたは、断片的ではあっても、みんな知っていると思われるので、それを足掛かりに、意味を深めていくようにしたい。

| 段階 | 時間 | 教師から | 子供に予想される反応 | 備考 |
|------|----|---|---|--|
| 課題確認 | 2分 | いよいよクリスマスですね。クリスマスはどういう日でしたか。 | <ul style="list-style-type: none"> イエス様の生まれた日 | <p>サンタのプレゼントの話は、こちらからはしない。本日の話の筋と合致しないからである。</p> <p>起きたことのいくつかを確認してもよい。</p> <p>馬小屋の中にいる、ヨセフとマリヤ、家畜などは除外する。</p> |
| 課題探究 | 6分 | <p>一番最初にイエス様が生まれたことを知ったのは誰だと思いますか。</p> <p>都の近くで野宿していた羊飼いたちが一番最初に知らされたのです。</p> <p>なぜ彼らが最初だったのでしょうか。</p> <p>当時羊飼いは、最低の職業と考えられていたのです。</p> <p>なぜなら羊を飼うのはとても面倒くさく、汚い仕事で、給料も安く、みんななりたくないと考えていたのでした。</p> <p>羊飼いは、羊のために命も投げ出さねばならない時が良くありました。でもその羊は、みんな、エルサレムの神殿で殺されるための羊だったのでした。</p> <p>救い主が生まれたという知らせは、そんなにこの世の中で低く見られていたとしても、その救いの重みを良く知っている人々にまずなされたのでした。</p> <p>まとめてみましょう。イエス様は誰を救うために来たのですか。</p> <p>羊が殺される辛さを良く知っていた人たちということで、何を思い出しますか。</p> <p>みんな、イエス様がなぜ御降誕下さったのか、かみしめたいと思います。</p> <p>暗誦聖句</p> | <ul style="list-style-type: none"> 知らない 羊飼い。 野宿していたから 解らない。 素直な人たちだったから 羊飼いだから(いい職業だから) えっなんで? みんな 十字架 | <p>色々挙げさせて、考えさせたい。</p> <p>羊飼いがいい職業のように考える向きは、大人にも大いにあると思われる。旧約時代と時代が変わり、社会構造が変わってしまったことは意識させたい。</p> <p>人の側からの理由 最低の職業ということである。</p> <p>人々は、彼らが救われることはなかりと考えていた。</p> <p>神の側からの理由 身代わりの羊がどれほど重い犠牲であるかを彼らは体験的に知っていた。</p> <p>羊が殺される意味を一番知っていたのが彼らだった。</p> <p>羊飼いと言う答えが出るなら、先の理由2つを適宜触れなおすと良い。</p> <p>これは難しいだろう。適宜教師側から述べていいと思う。</p> <p>187号のテーマからの反映。</p> |
| まとめ | 2分 | | | |